



にしきまち 集落支援だより

令和8年5月27日 No.40

錦総合支所 地域振興課 集落支援員

ふじしげ ひでゆき
藤重 秀之

☎ 0827-72-2110



木々に新芽が芽吹く季節になり、毎年恒例の茶摘み行事が開催されました。今回は「宇佐川小学校」と「旧岩国高等学校広瀬分校」で行われた茶摘みの様子を紹介します。さわやかな風に包まれ、新芽の香りを感じながら、皆で笑顔あふれる時間を過ごしました。

★★宇佐川小学校で行われた地域と連携した茶摘み★★ 令和8年5月7日



児童と地域住民と連携した茶摘み風景

宇佐川小学校内での茶摘みには、集落支援員も参加しました。

「宇佐いきいきサロン」の皆さんも多く参加され、小学校が掲げる「地域住民一体の学校活動」が、地域の皆さんの協力によって実現されています。今年の新芽の収穫量は2.5kgと例年よりやや少なめでしたが、数か月前に学校側で丁寧に手入れをされていたおかげで、質の良さを感じられる茶葉を収穫することができました。この行事が来年度以降も継続されることを願うとともに、集落支援員として引き続き支援していきたいと思えます。

お茶のクイズをきっかけに 児童と地域住民がふれあう様子



- ・茶摘み参加者
- ※地域住民：15名(高根地区外1名)
- ※学校関係：先生他→5名 児童→3名



★★岩国高等学校坂上分校に受け継がれる伝統の茶摘み★★ 令和8年5月8日

2025年3月に閉校した岩国市の岩国高等学校広瀬分校の茶摘みを8日、市内美和町の坂上分校の生徒たちが行いました。



高校生が茶摘み娘の姿で茶葉を摘む光景



地域住民参加



テレビ取材風景



旧岩国高等学校広瀬分校校内

毎年恒例の行事となっている、旧岩国高等学校広瀬分校内の茶摘みに参加しました。当日は、生徒、児童をはじめ、学校関係者および地域住民の皆様が参加されました。

本年度の新芽の収穫量は5.5kgと、例年よりやや少なめでしたが、一芽ごとの質は高く、すこやかな生育がうかがえました。

一方で、この行事を今後も継続していくためには、茶の木の手入れを適切に行う必要があるのではないかと感じました。地域の大切な活動として長く続けていくことができるよう、集落支援員として支援に携わっていきたいと考えています。



茶摘み参加者記念撮影

学校関係：岩国高等学校坂上分校：28名 錦清流小学校→先生他：3名、児童：6名
地域住民：7名